

令和8年度

定期総会資料

高山本線強化促進同盟会

次 第

1 議 事

議案第1号 令和7年度事業報告について

議案第2号 令和7年度収支決算について

議案第3号 令和8年度事業計画（案）について

議案第4号 令和8年度収支予算（案）について

報告第1号 役員の改選について

2 決 議

決議（案）について

令和7年度事業報告

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

年 月 日	事 業 内 容
R 7. 6. 27 (金) R 7. 6. 29 (日) R 7. 11. 9 (日) R 7. 11. 11 (火)	特急「ひだ」利用実態調査の実施
R 7. 8. 4 (月)	幹事会を開催し、定期総会議案書、事業計画、要望活動について審議（書面決議）
R 7. 8. 29 (金)	定期総会を開催し、令和6年度事業報告及び同収支決算並びに令和7年度事業計画(案)及び同収支予算(案)を審議決定（書面決議） 〔決議〕 1 北陸新幹線との相乗効果やリニア中央新幹線の開業を視野に入れ、所要時間の短縮や列車本数の増加など、旅客輸送サービスの強化改善を推進すること。 2 輸送の安全、防災対策を充実させるため、あらゆる角度から強化改善を検討し、事故防止に努めること。 3 安全で快適に利用できるようにするため、駅施設における利用者の利便性の向上・確保に取り組むとともに、鉄道施設や車両等の改善を推進すること。
R 7. 10. 25 (土) ～ R 7. 12. 24 (水)	高山本線広報・啓発事業として「高山本線フォトキャンペーン2025」を開催 ※実施期間中、74名から201枚の投稿があった。
R 8. 2. 4 (水)	西日本旅客鉄道株式会社金沢支社（金沢市）と東海旅客鉄道株式会社（名古屋市）に対し要望を実施
R 7. 4. 1 (月) ～ R 8. 3. 31 (月)	広報・啓発事業の実施

令和7年度収支決算

自 令和 7年4月 1日

至 令和 8年3月31日

収 入 の 部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引 増 減 (△) 額	摘 要
1 負担金	362,000	362,000	0	18 団体
2 特別負担金	600,000	600,000	0	富山県・岐阜県
3 繰入金	0	0	0	
4 繰越金	1,143,676	1,143,676	0	前年度繰越金
5 雑 入	355	2,580	2,225	預金利息
計	2,106,031	2,108,256	2,225	

支 出 の 部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引 増 減 (△) 額	摘 要
1 会議費	150,000	9,990	△140,010	総会経費等
2 事業費	1,786,031	577,040	△1,208,991	利用実態調査経費及び 広報・啓発事業費
3 事務費	50,000	4,930	△45,070	監査、負担金請求経費等
4 負担金	10,000	10,000	0	全国鉄道整備促進協議会負担金
5 積立金	100,000	100,000	0	100 周年記念事業積立
6 予備費	10,000	0	△10,000	
計	2,106,031	701,960	△1,404,071	

100周年記念事業の部

(単位：円)

前年度までの積立額 (a)	7年度積立額 (b)	7年度末残高 (a)+(b)-(c)
0	100,000	100,000

収入合計 2,108,256円

支出合計 701,960円

差引残高 1,406,296円 (令和8年度へ繰越)

監査報告書

高山本線強化促進同盟会会則第7条第5項の規定により、令和7年度決算について、監査を実施し、証拠書類、帳簿などを精査したところ、適正に執行されていたことを認めます。

令和8年 6月17日

監事 下呂商工会会長

令和8年 5月29日

中川 正之 

監事 富山市八尾山田商工会会長

鈴木 聡 

高山本線強化促進同盟会

会長 富山県知事 新田 八朗 殿

令和8年度事業計画（案）

1 基本方針

設立趣旨や決議の内容を踏まえ、本同盟会は一致協力し、より一層の安全対策、安全運行の確保はもとより、交流人口の拡大と広域観光の推進を図るため、特急「ひだ」の増発・増車をはじめ、高山本線の一層の利便性の向上に向けた取り組みを展開する。

2 活動項目

自 令和8年4月 1日

至 令和9年3月31日

年 月	事 業 内 容
R 8. 7 R 8. 11 R 8. 12～R 9. 1（仮）	特急「ひだ」利用実態調査の実施 高山本線の利用増に向けた広報・啓発活動を実施
R 8. 10（仮）	西日本旅客鉄道株式会社金沢支社及び東海旅客鉄道株式会社に 対し要望を実施
通年	全国鉄道整備促進協議会等の関係機関との連携及び情報収集活 動
通年	その他本同盟会の目的達成に必要な事項

令和8年度収支予算（案）

自 令和8年4月 1日

至 令和9年3月31日

収入の部

(単位：円)

科 目	令和8年度 予 算 額	令和7年度 予 算 額	比較増減 (△) 額	摘 要
1 負担金	362,000	362,000	0	18 団体
2 特別負担金	600,000	600,000	0	岐阜県・富山県
3 繰入金	0	0	0	
4 繰越金	1,406,296	1,143,676	262,620	前年度繰越金
5 雑 入	500	355	145	預金利息
計	2,368,796	2,106,031	262,765	

支出の部

(単位：円)

科 目	令和8年度 予 算 額	令和7年度 予 算 額	比較増減 (△) 額	摘 要
1 会議費	150,000	150,000	0	総会、幹事会経費等
2 事業費	2,048,796	1,786,031	262,765	利用実態調査経費及び 広報・啓発事業経費等
3 事務費	50,000	50,000	0	監査、負担金請求経費等
4 負担金	10,000	10,000	0	全国鉄道整備促進協議会負担金
5 積立金	100,000	100,000	0	100周年記念事業積立金
6 予備費	10,000	10,000	0	
計	2,368,796	2,106,031	262,765	

100周年記念事業の部

(単位：円)

前年度までの積立額 (a)	8年度積立額 (b)	8年度末残高 (a)+(b)
100,000	100,000	200,000

役員の改選について

現役員の任期が本年7月31日をもって満了となることから、高山本線強化促進同盟会会則第6条第1号の規定により、愛知、岐阜及び富山三県知事の互選の結果、次期会長に岐阜県知事が選任されました。

また、同条第2項の規定により、次期役員については別紙のとおり委嘱されました。

任期 令和8年8月1日～令和10年7月31日（2年間）

役 員 名 簿

令和8年8月1日現在

役 名	職 名	氏 名
会 長	岐阜県知事	江 崎 禎 英
副 会 長	富山県知事	新 田 八 朗
〃	愛知県知事	大 村 秀 章
理 事	富山市長	藤 井 裕 久
〃	岐阜市長	柴 橋 正 直
〃	高山市長	田 中 明
〃	美濃加茂市長	藤 井 浩 人
〃	各務原市長	浅 野 健 司
〃	下呂市長	山 内 登
〃	富山商工会議所会頭	庵 栄 伸
〃	岐阜商工会議所会頭	村 瀬 幸 雄
〃	高山商工会議所会頭	林 俊 宏
幹 事	愛知県都市・交通局交通対策課長	田 口 敦 史
〃	富山県交通政策局地域交通・新幹線政策室交通戦略企画課長	黒 崎 勇 一
〃	富山市活力都市創造部交通政策課長	杉 木 光 晴
〃	岐阜市都市建設部交通政策課長	桐 山 雅 司
〃	高山市都市政策部都市計画課長	大 下 雅 己
〃	飛騨市総務部次長兼総務課長	上 畑 浩 司
〃	下呂市総合政策部まちづくり政策課長	熊 崎 秀 樹
〃	岐阜県都市建築部リニア未来都市局公共交通課長	大 脇 哲 也
監 事	下呂商工会会長	中 川 正 之
〃	富山市八尾山田商工会会長	鈴 木 聡

参 与 名 簿

令和8年8月1日現在

役 名	職 名	氏 名
参 与	富 山 県 議 会 議 長	筱 岡 貞 郎
〃	愛 知 県 議 会 議 長	島 倉 誠
〃	岐 阜 県 議 会 議 長	松 岡 正 人
〃	富 山 県 商 工 会 議 所 連 合 会 会 長	庵 栄 伸
〃	富 山 県 商 工 会 連 合 会 会 長	宮 本 光 明
〃	愛 知 県 商 工 会 議 所 連 合 会 会 長	嶋 尾 正
〃	岐 阜 県 商 工 会 議 所 連 合 会 会 長	村 瀬 幸 雄

決 議（案）

高山本線は、我が国のほぼ中央部において日本海側と太平洋側とを結ぶ交通の大動脈としての役割を担い、沿線各地はもとより、中部圏全体の交通の活性化、経済・文化の発展、向上に寄与してきた欠くことのできない基幹鉄道となっている。

平成27年3月の北陸新幹線の長野―金沢間開業、さらに、令和6年3月の敦賀までの延伸により首都圏や関西圏と北陸との時間距離が飛躍的に短縮されたことに加え、将来的には大阪までの全線開業や、リニア中央新幹線の東京―名古屋間の開業が予定されており、今後も地域間の交流・連携が一層図られるものと期待される。

高山本線は沿線に多くの観光地を有し、車窓風景も美しい「観光路線」であり、政府が訪日外国人旅行者数を令和12年に6000万人とする目標を掲げ、令和7年の訪日客数、消費額も過去最高となる中、インバウンドを含む旅行需要を確実に取り込むため、その重要性はますます高まっている。

このような中、JR東海及びJR西日本においては、今後も、より一層の安全対策、安全運行を確保されることはもとより、北陸新幹線の全線開業やリニア中央新幹線開業を契機とした新たな交流人口の拡大と広域観光の推進を図るため、高山本線の一層の利便性の向上に努められることが強く望まれるところである。

よって、我々は、高山本線の強化促進に向けて、次の事項について一致協力して、強力な運動を展開するものとする。

（１）北陸新幹線及び富山高山すし空港との相乗効果やリニア中央新幹線の開業を視野に入れ、所要時間の短縮や列車本数の増加など、旅客輸送サービスの強化改善を推進すること。

- ・ 特急「ひだ」の増発、増車
- ・ 北陸新幹線との乗り継ぎの利便性を確保するダイヤ改正
- ・ 北陸新幹線及び東海道新幹線と特急「ひだ」の乗り換えの際の特急料金の割引に類する企画切符の設定
- ・ 普通列車の利便性向上
- ・ 観光シーズンに併せた臨時列車の運行拡大
- ・ 富山―高山間における観光列車の季節運行
- ・ 富山高山すし空港との連携強化
- ・ 利用実態のデータ共有
- ・ 電化及び複線化の促進
- ・ 部分線増、一線スルー化、分岐器の改良等によるスピードアップ

（２）輸送の安全、防災対策を充実させるため、あらゆる角度から強化改善を検討し事故防止に努めること。

- ・ 危険箇所の保守点検や保安設備の強化等の積極的な推進
- ・ 雪対策の強化
- ・ 災害や事故発生時における機能的な連絡体制の構築

（３）安全で快適に利用できるようにするため、駅施設における利用者の利便性の向上・確保に取り組むとともに、鉄道施設や車両等の改善を推進すること。

- ・ 鉄道施設及び車両等のバリアフリー化の推進
- ・ 鉄道施設の改善及び周辺整備への協力
- ・ 観光客の増加に向けた体制づくり
- ・ 交通系 I C カードの利用可能エリアの拡大や M a a S アプリの活用によるキャッシュレス決済への対応の加速化

以上決議する。

令和8年9月9日

高山本線強化促進同盟会